

DeLL 24 モニター SE2422HR/SE2422HM ユーザーガイド

モデル番号：SE2422HR/SE2422HM
規制モデル：SE2422HRt/SE2422HMt



-  注釈：注釈には、コンピュータをより有効に使用するために役立つ重要な情報が示されています。
-  注意：注意には、指示に従わなかった場合に起こり得るハードウェアへの損傷またはデータの損失が示されています。
-  警告：警告には、物的損害、身体への傷害、または死亡の可能性が示されています。

Copyright © 2021 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標です。

2021年 - 07月

版数： A00

内容

安全に関する注意事項	5
お使いのモニターについて	6
パッケージの内容	6
製品の特徴	8
部品とコントロール	9
前面ビュー	9
背面ビュー	10
底面ビュー	11
モニターの仕様	13
解像度の仕様	14
プリセットディスプレイモード	15
電氣的仕様	17
物理特性	18
環境特性	19
ピン割当	20
プラグアンドプレイ	23
LCDモニター品質とピクセルポリシー	23
エルゴノミクス	24
ディスプレイの取り扱いと移動	26
メンテナンスガイドライン	27
モニターのお手入れ	27
モニターの設定	28
スタンドを取り付ける	28
チルトを使用	31
モニターの接続	32



ケーブルを整理する	33
Kensington ロックを使用してモニターを固定する (オプション)	34
モニタースタンドを取り外す	35
壁取り付け(オプション)	36
モニターの操作	37
モニターの電源を入れる	37
フロントパネルコントロールの使用	37
OSDロック機能を使用する	39
フロントパネルボタン	42
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用	43
メニューシステムにアクセス	43
OSD警告メッセージ	57
最大解像度を設定する	61
トラブルシューティング	62
セルフテスト	62
内蔵の診断機能	63
共通の問題	65
製品固有の問題	69
付録	70
FCC通知 (米国のみ) およびその他規制情報	70
Dellに連絡	70
エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース	70



安全に関する注意事項

⚠ 警告：本文書に指定されている記述以外の操作、調整、または手順をおこなった場合、衝撃や電氣的危険、および/または機械的危険にさらされる可能性があります。

- ・両手を使って、モニターを慎重に持ち上げ、硬い面の上に置いてください。画面は壊れやすく、落としたり激しい打撃を受けたりすると損傷する可能性があります。
- ・モニターが、お住まいの地域で使用する AC 電源で動作するように、定格電圧になっていることを確認してください。
- ・モニターは室温で保管してください。過度な低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響を与える可能性があります。
- ・モニターに激しい振動や強い衝撃を与えないでください。例えば、モニターを車のトランクに置くことはしないでください。
- ・長期にわたってモニターを使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- ・感電を防ぐため、カバーを取り外したり、モニターの内部に触れたりしないでください。

安全に関する注意事項情報については、モニターに付属の安全、環境、規制に関する情報（SERI）を参照してください。

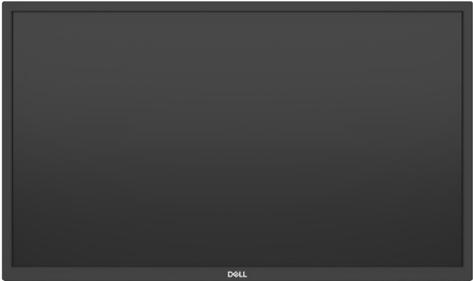


お使いのモニターについて

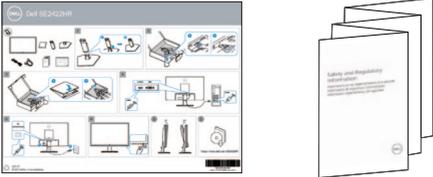
パッケージの内容

 注釈：一部のコンポーネントはオプションで、モニターに付属していない場合があります。

モニターには、以下の表に示されているコンポーネントが同梱されています。コンポーネントに欠陥がある場合には、Dellテクニカルサポートにご連絡ください。[Dellへのお問い合わせ方法](#)についてはDellへのお問い合わせをご覧ください。

	ディスプレイ
	スタンドライザー
	スタンド台
	Vesaカバー



	<p>電源ケーブル(国によって異なります)</p>
	<p>HDMIケーブル(SE2422HRのみ)</p>
	<p>VGAケーブル(SE2422HMのみ)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイックセットアップガイド ・ 安全、環境、および規制に関する情報



製品の特徴

Dell SE2422HR/SE2422HMフラットパネルディスプレイは、アクティブマトリクス、薄膜トランジスタ（TFT）、液晶ディスプレイ（LCD）、LEDバックライトを有します。モニターの特徴は次のとおりです。

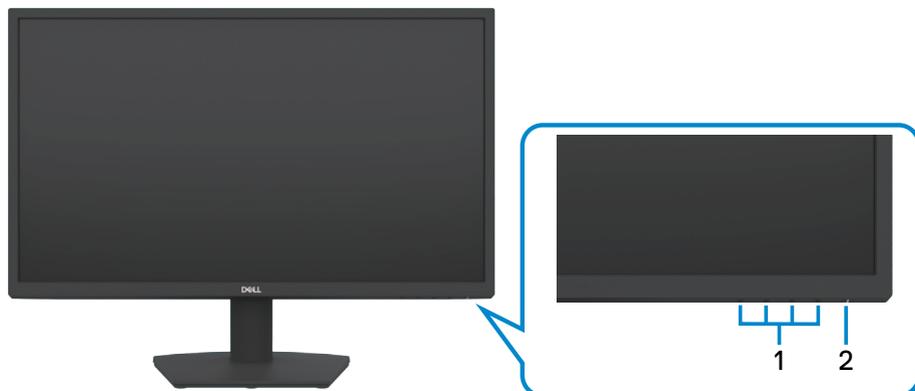
- ・ 60.47cm (23.80インチ) 表示可能領域のディスプレイ（対角で測定）。解像度 1920 x 1080 (16:9)。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- ・ 72%NTSC（標準）の色域、CIE1931。
- ・ HDMI (SE2422HRのみ) / DVI (SE2422HMのみ) とのデジタル接続。
- ・ チルト調節機能。
- ・ 取り外し可能なスタンドと自由自在な取り付けが可能な VESA（ビデオエレクトロニクススタンダーズアソシエーション）100mm 取り付け穴。
- ・ コンピュータが対応している場合、プラグアンドプレイ機能をサポート。
- ・ 簡単設定と画面の最適化を可能にするオンスクリーンディスプレイ（OSD）調整。
- ・ 電源ボタンとOSDボタンがロックされています。
- ・ スタンドロック。
- ・ スタンドロック。
- ・ スタンバイモードで ≤ 0.3 W。
- ・ TÜV認定ComfortView機能は、モニターから放出されるブルーライト量を減らして、目の快適さを最大限に保つように設計されています。
- ・ FreeSyncモードで48Hz~75 Hz（HDMI）をサポート（SE2422HRのみ）。
- ・ AMD FreeSync™ 技術をサポート（SE2422HRのみ）。
- ・ TÜV認証を受けたちらつきのない画面で目の快適さを最大限に保ちます。

⚠ 警告：モニターからの長時間にわたるブルーライトの放出により、目の疲労やデジタル眼精疲労など、目の損傷が生じることがあります。



部品とコントロール

前面ビュー



ラベル	説明	目的
1	ファンクションボタン	詳細は モニターの操作 を参照ください
2	電源LEDインジケーター	<ul style="list-style-type: none">・ 白くライトが点灯した場合、モニターがオンで正常に機能していることを示します。・ ライトが白く点滅する場合は、モニターがスタンバイモードであることを示しています。



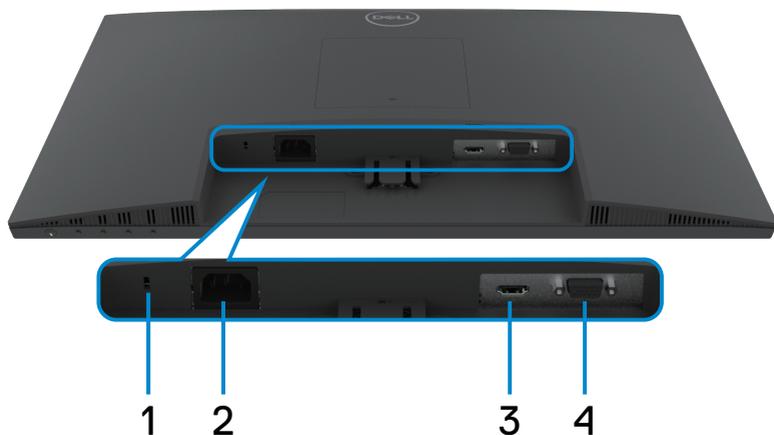
背面ビュー



ラベル	説明	目的
1	VESA マウント用穴 (100 mm x 100 mm - VESAカバーの後ろ)	VESA互換壁取り付けキット (100 mm x 100 mm) を使用する壁取り付けモニター。 注釈：壁取り付けキットは別売りです。
2	規制ラベル	規制承認をリストします。
3	スタンドリリースボタン	スタンドをモニターから外します
4	バーコード、シリアル番号、サービスタグラベル	サービスタグは一意の英数字識別子であり、Dell のサービス技術者側でご利用のモニター内のハードウェアコンポーネントを識別し、保証情報にアクセスできるようにするためのものです。Dell にテクニカルサポートを要請する際にはこのラベルを参照します。
5	Vesaカバー	VESAカバーの前面にある2つの端点をVESA取り付け穴に合わせて、VESAカバーを軽く押します。
6	ケーブル管理スロット	接続されたケーブルを整理され、整然とした状態に維持するのに役立ちます。



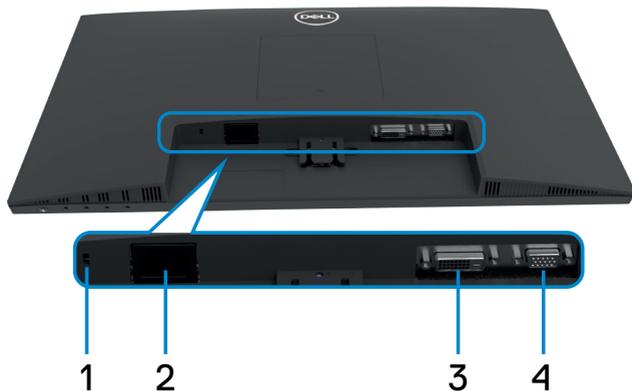
底面ビュー



SE2422HR

ラベル	説明	目的
1	セキュリティ固定 スロット	モニターを固定するために、セキュリティロックを使用します（別売）。
2	電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。
3	HDMI ポート	HDMIケーブルを接続します。
4	VGAポート	VGAケーブルを接続します。





SE2422HM

ラベル	説明	目的
1	セキュリティ固定スロット	モニターを固定するために、セキュリティロックを使用します（別売）。
2	電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。
3	DVIポート	DVIケーブルを接続します。
4	VGAポート	VGAケーブルを接続します。



モニターの仕様

スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	面内切替技術
アスペクト比	16:9
表示可能な画像サイズ	
対角	604.70 mm (23.80インチ)
アクティブ領域	
水平	527.04 mm (20.75インチ)
垂直	296.46 mm (11.67インチ)
領域	156,246.28 mm ² (242.18平方インチ)
ピクセルピッチ	0.2745 mm x 0.2745 mm
ピクセルパーインチ (PPI)	92.56
視野角	
水平	178° 標準値
垂直	178° 標準値
明るさ	250 cd/m ² (標準値)
コントラスト比	1000:1 (標準値)
ディスプレイ画面コーティング	3H硬度のアンチグレア
バックライト	WLED
応答時間 (グレーからグレー)	8 ms (ノーマル) 5 ms (高速) 4 ms (エクストリーム) 注釈: Extreme モードでは、高い速度と応答性を実現するためにオーバードライブするため、わずかなアーティファクトが発生する可能性があります。画面の前面とゲームプレイを最適化する場合は、Normal/Fast/Extreme モードを使用してください。
色深度	167万色
色域*	72% NTSC、CIE 1931
接続性	
SE2422HR	・1 x HDMI 1.4 (HDCP 1.4) ・1 x VGA



SE2422HM	<ul style="list-style-type: none"> ・1 x VGA ・1 x DVI (HDCP 1.4)
境界幅（モニターの端からアクティブ領域まで）	
上	12.80 mm
左 / 右	12.80 mm
下	16.92 mm
調整機能	
高さ調節可能なスタンド	NA
チルト	-5° to 21°
ケーブル管理	対応
Dell Display Manager (DDM) の互換性	簡単アレンジ およびその他の主要な機能
セキュリティ	セキュリティロックスロット（ケーブルロックは別売り）

*パネルネイティブのみ、カスタムモードプリセット時。

解像度の仕様

モデル	SE2422HR		SE2422HM	
説明	HDMI	VGA	DVI	VGA
事前設定の最高解像度	1920 x 1080、75Hz (HDMI) 1920 x 1080、60Hz (VGA)		1920 x 1080、60Hz	
水平スキャン範囲	30 kHz から 83 kHz			
垂直スキャン範囲	48 Hz から 75 Hz			
ビデオ表示機能（SE2422HR HDMI モード/ SE2422HM VGA モード）	480p, 576p, 720p, 1080i, 1080p, FHD			



プリセットディスプレイモード

SE2422HR

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
720 x 400	31.47	70.08	28.32	-/+
640 x 480	31.47	59.94	25.18	-/-
640 x 480	37.50	75	31.50	-/-
800 x 600	37.88	60.317	40	+/+
800 x 600	46.88	75	49.50	+/+
1024 x 768	48.36	60	65	-/-
1024 x 768	60.02	75.029	78.75	+/+
1152 x 864	67.50	75	108	+/+
1280 x 1024	64	60.02	108	+/+
1280 x 1024	80	75.02	135	+/+
1600 x 900	60	60	108	+/+
1920 x 1080	67.50	60	148.50	+/+
1920 x 1080	83.89	75	174.50	+/-



SE2422HM

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
720 x 400	31.47	70.08	28.32	-/+
640 x 480	31.47	59.94	25.18	-/-
640 x 480	37.50	75	31.50	-/-
800 x 600	37.88	60.317	40	+/+
800 x 600	46.88	75	49.50	+/+
1024 x 768	48.36	60	65	-/-
1024 x 768	60.02	75.029	78.75	+/+
1152 x 864	67.50	75	108	+/+
1280 x 800	49.70	59.81	83.50	+/+
1280 x 1024	64	60.02	108	+/+
1280 x 1024	80	75.02	135	+/+
1600 x 900	60	60	108	+/+
1920 x 1080	67.50	60	148.50	+/+



電氣的仕様

説明	SE2422HR	SE2422HM
ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none"> ・HDMI 1.4、各差動ラインで600mV、差動ペアあたり100オームの入カインピーダンス ・アナログ RGB、0.7ボルト +/- 5%、75Ω入カインピーダンスで正極性 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVI、各差動ラインで600mV、差動ペアあたり100オームの入カインピーダンス ・アナログ RGB、0.7ボルト +/- 5%、75Ω入カインピーダンスで正極性
入力電圧/周波数/電流	100 VAC~240 VAC / 50 Hzまたは60 Hz ± 3 Hz / 1.5 A (最大)	
突入電流	120 V : 0° C 時に 30 A (最大) (コールドスタート) 240 V : 0° C 時に 60 A (最大) (コールドスタート)	
消費電力	0.3 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 14.1 W (オンモード) ¹ 24 W (最大) ² 13.65 W (P _{on}) ³ 42.76 kWh (TEC) ³	

¹ EU 2019/2021およびEU 2019/2013で定められた通り。

² 最大電力負荷をかけた状態で、輝度とコントラストを最大に設定。

³ P_{on} : Energy Star テスト方法に照らし合わせて測定されたオンモード時の消費電力。

TEC : Energy Star テスト方法に照らし合わせて測定された kWh 単位の総エネルギー消費量。

△ 注意 : 本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を記載しております。お買い求めになった製品はご注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては異なる性能を示すことがあります。かかる情報を更新する義務はその製品にありません。そのため、電氣的の許容範囲やその他について意志決定するとき、お客様はこの情報に頼るべきではありません。精度または完全性に関しては、明示的にも黙示的にも何の保証もありません。



物理特性

説明	SE2422HR	SE2422HM
コネクタータイプ	・1 x HDMI 1.4 ポート ・1 x VGAポート	・1 x VGAポート ・1 x DVIポート
シグナルケーブルタイプ	1.8 m HDMI ケーブル	1.8 m VGA ケーブル
寸法 (スタンドあり)		
高さ	420.25 mm (16.55 インチ)	
幅	552.64 mm (21.76 インチ)	
奥行き	178.81 mm (7.04 インチ)	
寸法 (スタンドなし)		
高さ	331.61 mm (13.06 インチ)	
幅	552.64 mm (21.76 インチ)	
奥行き	49.69 mm (1.96 インチ)	
スタンド寸法		
高さ	173.93 mm (6.85 インチ)	
幅	240.42 mm (9.47 インチ)	
奥行き	178.81 mm (7.04 インチ)	
重量		
パッケージ含む	5.23 kg (11.53 ポンド)	
組み立てスタンドとケーブル含む	3.77 kg (8.31 ポンド)	
スタンド、ケーブルなし (壁取り付けまたはVESAマウント用)	3.18 kg (7.01 ポンド)	
組み立てスタンドの	0.33 kg (0.73 ポンド)	



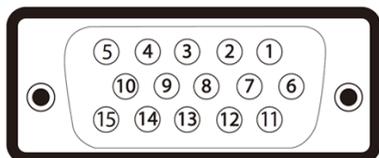
環境特性

説明	数値
準拠規格	
・ RoHS準拠 ・ BFR/PVC 軽減モニター（外部ケーブルを除く） ・ ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル（のみ）	
温度	
動作	0° C to 40° C (32° F to 104° F)
非動作	保管：-20° C ~ 60° C (-4° F ~ 140° F) 輸送：-20° C ~ 60° C (-4° F ~ 140° F)
湿度	
動作（結露なし）	20%から90%
非動作（結露なし）	保管：5%から90% 輸送：5%から90%
高度	
動作（最高）	5,000 m (16,404フィート)
非動作（最高）	12,192 m (4万フィート)
熱出力	81.89 BTU/時（最大） 48.11 BTU/時（オンモード）



ピン割当

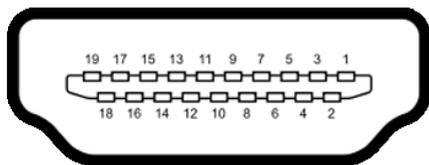
VGA コネクタ



ピン番号	接続される信号ケーブルの 15 ピン側
1	動画 - 赤色
2	動画 - 緑色
3	動画 - 青色
4	NC
5	セルフテスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	コンピューター 5 V / 3.3 V
10	GND-同期
11	GND
12	DDC データ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDC クロック



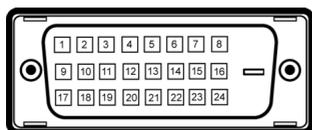
HDMIコネクタ (SE2422HRのみ)



ピン番号	接続された信号ケーブルの19ピン側
1	TMDSデータ2+
2	TMDSデータ2シールド
3	TMDSデータ2-
4	TMDSデータ1+
5	TMDSデータ1シールド
6	TMDSデータ1-
7	TMDSデータ0+
8	TMDSデータ0シールド
9	TMDSデータ0-
10	TMDSクロック+
11	TMDSクロックシールド
12	TMDSクロック-
13	CEC
14	使用不可 (デバイス無接続)
15	DDCクロック (SCL)
16	DDCデータ (SDA)
17	DDC/CECグランド
18	+5V電源
19	ホットプラグ検出



HDMIコネクタ (SE2422HMのみ)



ピン番号	接続された信号ケーブルの24ピン側
1	TMDS Data 2-
2	TMDS Data 2+
3	TMDS Data 2/4 Shield
4	TMDS Data 4-
5	TMDS Data 4+
6	DDC Clock
7	DDC Data
8	Analog Vertical Sync
9	TMDS Data 1-
10	TMDS Data 1+
11	TMDS Data 1/3 Shield
12	TMDS Data 3-
13	TMDS Data 3+
14	+5V Power
15	Ground
16	Hot Plug Detect
17	TMDS Data 0-
18	TMDS Data 0+
19	TMDS Data 0/5 Shield
20	TMDS Data 5-
21	TMDS Data 5+
22	TMDS Clock Shield
23	TMDS Clock+
24	TMDS Clock



プラグアンドプレイ

任意のプラグアンドプレイ互換コンピューターにモニターをインストールすることができます。モニターは自動的にディスプレイデータチャンネル（DDC）プロトコルを使用したコンピューターに、拡張ディスプレイ識別子データ（EDID）を提供し、コンピューターは自身を構成し、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターのインストールは自動です。希望があれば、別の設定を選択できます。モニターの設定で、モニター設定変更についての詳細情報が必要な場合には、[モニターの操作](#)を参照ください。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニターの製造プロセス時に、1つまたは複数のピクセルが変化のない状態で固定されることがよくあります。これは気づきにくい減少であり、表示品質や使いやすさに影響を与えることはありません。LCD モニターのピクセルポリシーに関する詳細については、サイト (<https://www.dell.com/pixelguidelines>) をご覧ください。



エルゴノミクス

△ 注意：キーボードは、不適切な使用や長時間の使用により、損傷する恐れがあります。

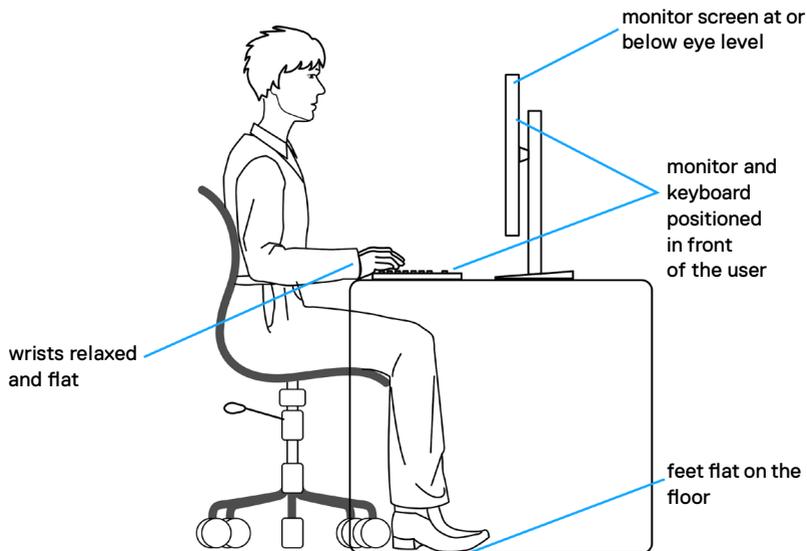
△ 注意：モニター画面を長時間にわたって見続けると、目の疲れが生じる場合があります。

快適さと効率性のため、コンピュータワークステーションをセットアップして使用する際には、次のガイドラインに従ってください。

- ・ コンピュータは、作業中にモニターとキーボードが正面に来るよう配置します。キーボードを正しく配置するのに役立つ専用の棚も市販されています。
- ・ 長時間にわたるモニターの使用が原因で生じる眼精疲労や首/腕/背中/肩の痛みのリスクを減らすため、以下を推奨します：
 1. 画面は目から50～70センチ（20～28インチ）程度離れた場所に設置してください。
 2. モニターを使って作業する時には、目を湿らせる、または濡らすため、頻繁にまばたきしてください。
 3. 2時間ごとに20分間の休憩を定期的かつ頻繁に取ってください。
 4. 休憩中は、モニターから目を離し、20フィート（約6メートル）先にある物を最低でも20秒間は見つめてください。
 5. 首/腕/背中/肩の緊張を和らげるため、休憩中にストレッチを行ってください。
- ・ モニターの前に座る際には、モニター画面が目の高さ、または少し下に位置するよう調整してください。
- ・ モニターの傾き、コントラスト、輝度の設定を調整します。
- ・ 周囲の環境照明（天井照明、デスクライト、近く之窗のカーテンやブラインドなど）を調整して、モニター画面への反射とグレアを最小限に抑えます。
- ・ 腰をしっかりと支えるチェアを使用してください。
- ・ キーボードやマウスを使用する際は、前腕と手首が水平に保たれ、ニュートラルで快適な位置にくるようにします。
- ・ キーボードやマウスの使用中は、手を置くためのスペースを常に確保してください。
- ・ 上腕は両方とも自然な状態にします。
- ・ 足を床に平らな状態で置いてください。
- ・ 座っている状態で、脚の重心が座席の前方ではなく、足裏に乗っているようにしてください。正しい姿勢を保つため、必要に応じて椅子の高さを調整するか、フットレストを使用してください。



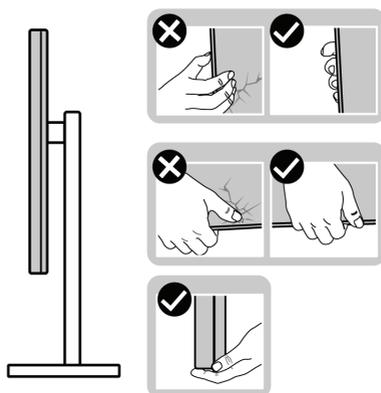
- ・ 作業内容に変化をつけてください。長時間にわたって座って作業する必要がないよう、作業内容を組み立ててください。定期的に立ち上がり、歩き回るようにしてください。
- ・ 机の下は、障害物やケーブル・電源コードのない状態に保ち、快適に座る際に邪魔になったり、踏く危険性がないようにしてください。



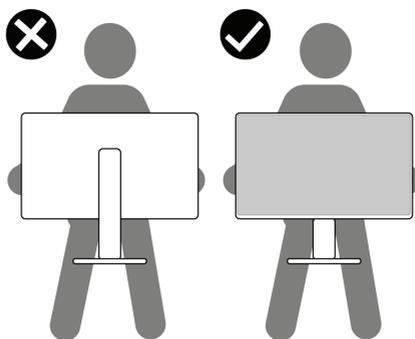
ディスプレイの取り扱いと移動

モニターを持ち上げたり移動したりする際には、モニターを安全に取り扱えるよう、以下のガイドラインに従ってください：

- ・ モニターを移動または持ち上げる前に、コンピュータとモニターの電源を切ってください。
- ・ モニターからすべてのケーブルを外します。
- ・ モニターを付属の梱包材と一緒に元の箱に戻します。
- ・ モニターを持ち上げたり移動したりする際には、過度の圧力がかからないよう、モニターの下端と側面をしっかりと持ってください。



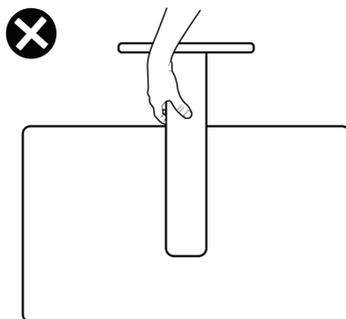
- ・ モニターを持ち上げたり移動したりする際には、画面が自分と反対側を向くよう、ディスプレイ部に圧力がかからないようにし、傷や破損を避けてください。



- ・ モニターを動かす際には、突然の衝撃や振動をモニターに与えないようご注意ください。



- ・ モニターを持ち上げたり動かしたりする際、スタンドベースやスタンドライザーを持ってモニターが逆さまにならないようにしてください。逆さまにすると、モニターが偶発的に破損したり怪我の原因となったりする可能性があります。



メンテナンスガイドライン

モニターのお手入れ

- ⚠ **警告**：怪我またはハードウェアや資産物への損傷を避けるため、モニターを清掃する前にはモニターの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ⚠ **注意**：モニターを清掃する前に、[安全に関する注意事項](#)を読み、記載されている指示に従ってください。

ベストプラクティスを実践するため、モニターの開梱、清掃、または取り扱い中は、以下に記載されているリストの指示に従ってください：

- ・ モニターの開梱時に白い粉がついた場合は、布で拭いてください。
- ・ 暗い色のモニターは、傷付けた場合、白い擦り傷が発生しますので、慎重に取り扱ってください。
- ・ 帯電防止画面を清掃するには、柔らかく清潔な布を水で軽く湿らせてください。可能であれば、帯電防止コーティング用の特別な画面クリーニング用ティッシュや液剤を使用してください。画面を清掃するために、ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨洗浄剤、または圧縮空気は使用しないでください。
- ・ 軽く湿らせた柔らかい布を使用してモニターを清掃します。モニターに乳白色の膜が残る洗剤もあるため、洗剤は一切使用しないでください。
- ・ モニターで最良の画像品質を維持するため、ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用し、使用しない時にはモニターの電源を切るようにしてください。

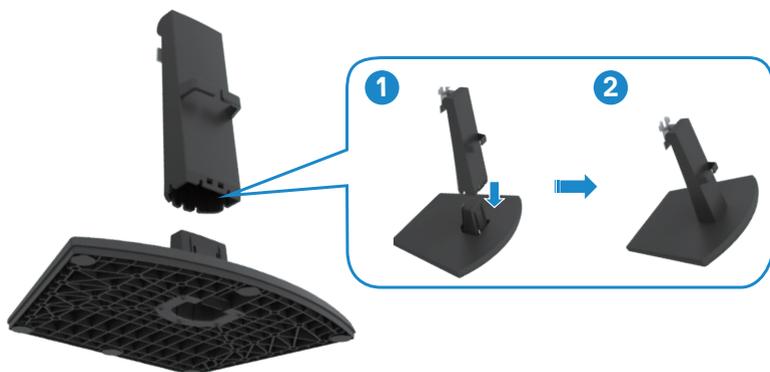


モニターの設定

スタンドを取り付ける

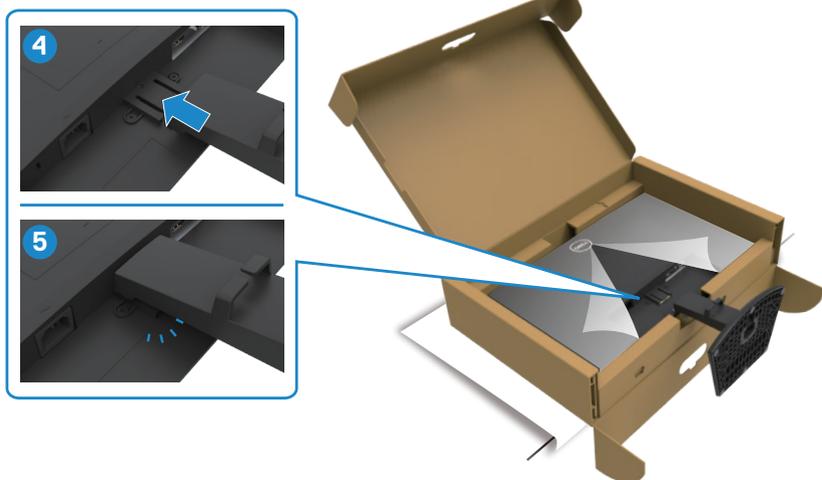
- 注釈：工場からモニターを出荷する際には、スタンドライザーとスタンドベースが取り外された状態で出荷されます。
- 注釈：以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。
- △ 注意：ディスプレイパネルを傷つけないように、清潔で平面になった柔らかい場所にモニターを置きます。

モニタースタンドを取り付けるには：

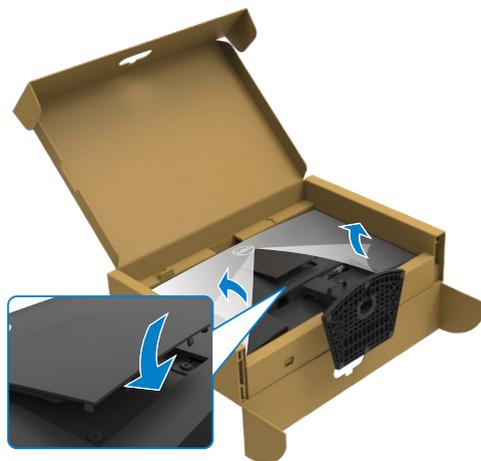


1. スタンドベースのタブをスタンドライザーのスロットに合わせます。
2. スタンドライザーをスタンドベースにしっかりとめ込みます。





3. スタンドライザーブラケットのタブを、モニターの裏面にある溝に合わせます。
4. 所定の位置にしっかりと固定されるまで、スタンドライザーブラケットを、モニターの溝に差し込みます。



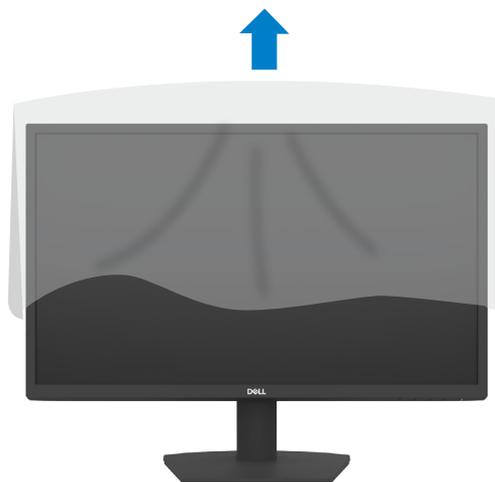
5. モニターの保護カバーを開いてVESAネジカバーを設置します。





△ 注意：偶発的な破損を防ぐため、モニターを持ち上げる際には、スタンドライザーをしっかりと持ってください。

6. スタンドライザーを手に持ち、モニターを注意深く持ち上げて、平らな場所に置きます。



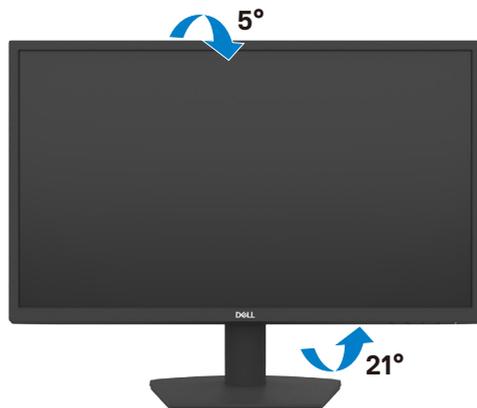
7. モニターから保護カバーを持ち上げて外します。



チルトを使用

 注釈：以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

モニターにスタンドを接続すると、もっとも見やすい角度にモニターを傾けることができます。



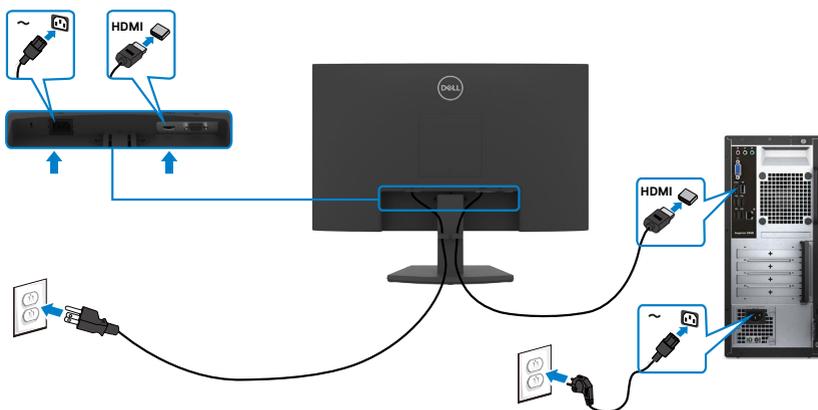
モニターの接続

⚠ 警告：このセクションの手順を始める前に、[安全に関する注意事項](#)に従ってください。

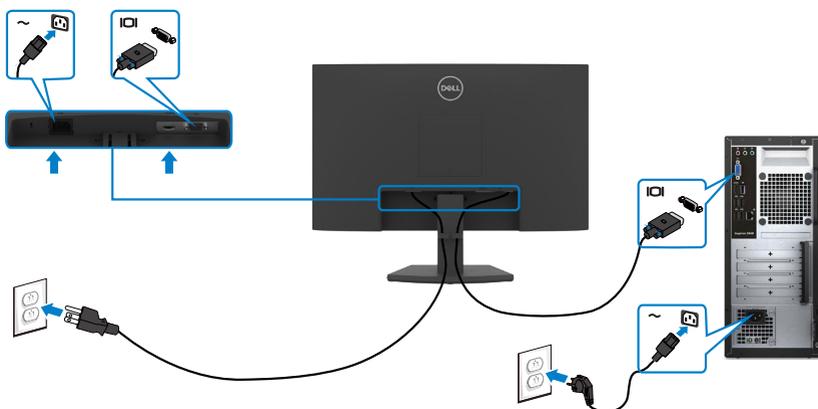
モニターをコンピューターに接続するには：

1. コンピューターの電源を切ってください。
2. モニターとコンピューターを HDMI/VGA/DVI ケーブルで接続します。
3. モニターの電源を入れます。
4. モニターの OSD メニューで正しい入力ソースを選択し、コンピューターの電源を入れます。

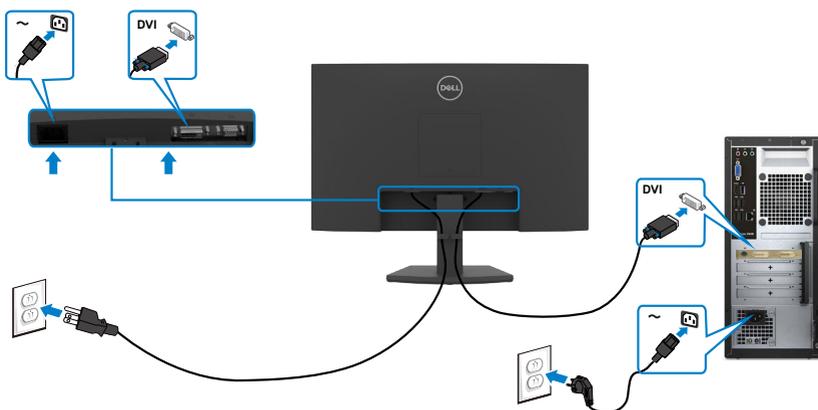
HDMI ケーブルと電源ケーブルを接続する (SE2422HRのみ)



VGA ケーブルを接続する



DVI ケーブルを接続する (SE2422HMのみ)



ケーブルを整理する



必要なすべてのケーブルをモニターとコンピュータに接続した後（ケーブルの接続については「[モニターの接続する](#)」を参照）、すべてのケーブルを上記に示されている通りに整理します。



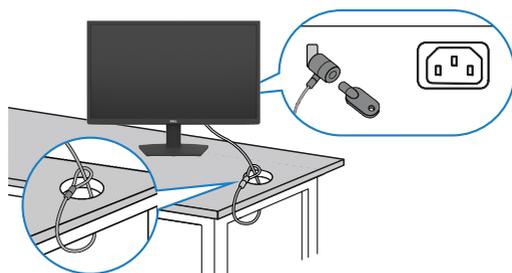
Kensington ロックを使用してモニターを固定する (オプション)

 注釈：Kensington ロックは別売りです。

セキュリティ固定スロットは、入出力パネルの電源コネクタの隣にあります。（セキュリティ固定スロットの場所については、[底面図](#)を参照してください。）

Kensington ロック（別売）の使用方法的詳細については、ロックに付属のマニュアルを参照してください。

Kensington セキュリティロックを使用して、モニターをテーブルに固定します。



 注釈：画像は説明を目的としたイメージです。ロックの外観が異なる場合があります。



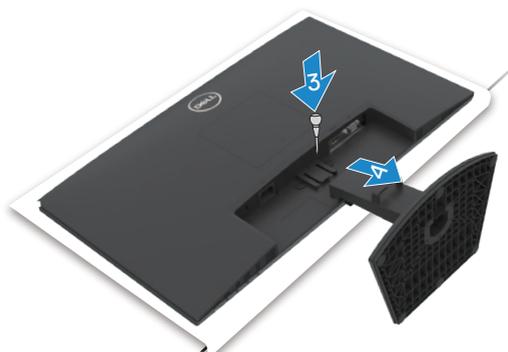
モニタースタンドを取り外す

△ 注意：スタンドを取り外す際に液晶画面に傷が付かないように、モニターは、柔らかく清潔で平らな表面に置くようにしてください。

✍ 注釈：以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のもので、他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

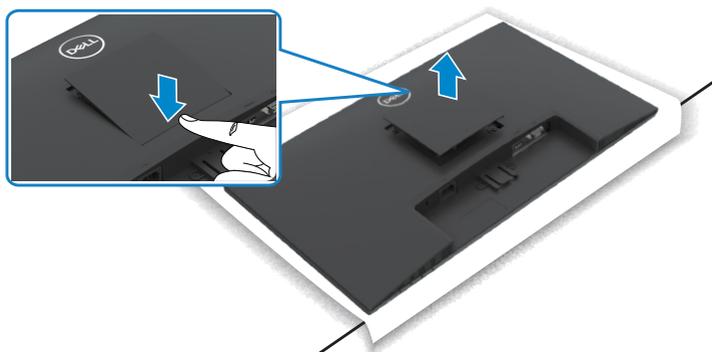
スタンドを取り外します：

1. テーブルの端の近くに平らなクッションまたはマットを置き、ディスプレイを下に向けてモニターをその上に置きます。
2. スタンドを押して下げ、スタンドリリースボタンにアクセスします。
3. 長いクリュードライバーを使って、リリースラッチを押します。
4. リリースラッチを押しながら、スタンドアセンブリをスライドしてモニターから外します。

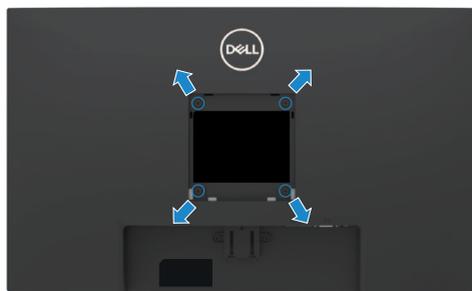


VESA カバーを外すには

VESAカバーのくぼみを押して、ディスプレイの背面から外します。



壁取り付け(オプション)



 注釈： M4x10mmネジを使用して、壁取り付けキットをモニターに固定します。

 注釈： 壁マウントキットは別売りです。

VESAとの互換性のある壁取り付けキットに付属のマニュアルを参照してください。

1. テーブルの端の近くに平らなクッションまたはマットを置き、ディスプレイを下に向けてモニターをその上に置きます。
2. **スタンド**を外します。
3. フィリップス型プラススクレュードライバーを使用して、背面パネルを本体に固定している4本のネジを取り外します。
4. 壁取り付けキットにある取り付け用ブラケットをモニターに接続します。
5. 壁取り付けキットに付属されている説明書に従って、モニターを壁に取り付けます。

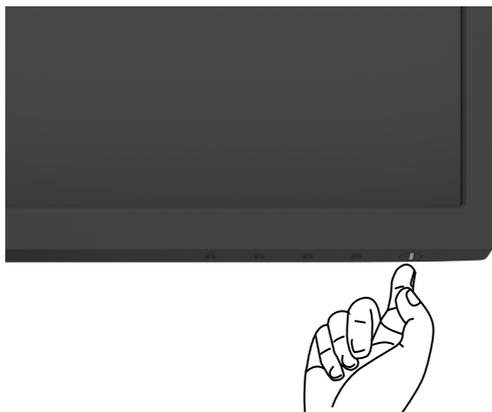
 注釈： UL、CSA、GSリストの壁掛けブラケット使用のみ、最小負荷重量 11.60 kg (25.57 ポンド)。



モニターの操作

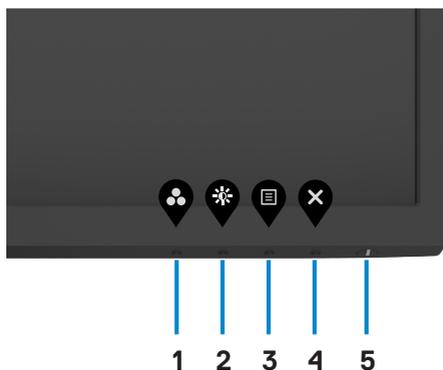
モニターの電源を入れる

● ボタンを押してモニターをオンにする。



フロントパネルコントロールの使用

モニターの下面にあるコントロールボタンを使用して、表示されている画像の詳細を調整します。コントロールボタンを使用すると、画面にオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが表示されます。



次の表は、前面パネルのボタンを説明しています。

フロントパネルボタン	説明
1  ショートカットキー： プリセットモード	このボタンを使用して、プリセットカラーモードの一覧から選択することができます。
2  ショートカットキー： Brightness/Contrast（輝度/コントラスト）	Brightness/Contrast（輝度/コントラスト）調節スライダーに直接アクセスします。
3  メニュー	このボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）を起動し、OSDでオプションを選択します。 メニューシステムにアクセス を参照ください。
4  終了	このボタンを使用して、メインメニューに戻ったり、OSDメインメニューを終了します。
5  電源（電源ステータスライ ト付き）	モニターのオン・オフを切り替えます。 白くライトが点灯した場合、モニターがオンで正常に機能していることを示します。ライトが白く点滅する場合は、モニターがスタンバイモードであることを示しています。



OSDロック機能を使用する

OSD メニューおよび/または電源ボタンへのアクセスを防ぐため、前面パネルのコントロールボタンをロックすることができます。

ロックメニューを使用してボタンをロックします。

1. 次のオプションのいずれかを選択します。



2. 次のメッセージが表示されます。

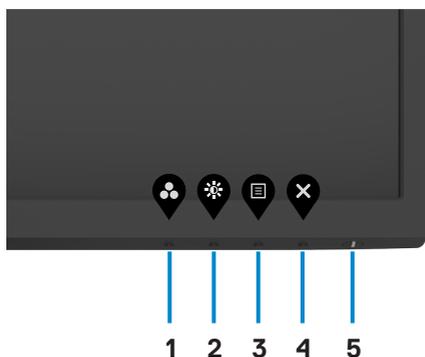


3. はいを選択して、ボタンをロックします。ロックすると、コントロールボタンを押した時にロックアイコンが表示されます 

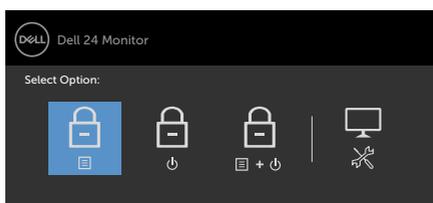


前面パネルのコントロールボタンを使用してボタンをロックします。

ボタンの説明については、「[フロントパネルのコントロールを使用する](#)」を参照してください。



1. **内蔵診断**ボタン（ボタン 4）を4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。



2. 次のオプションのいずれかを選択します。

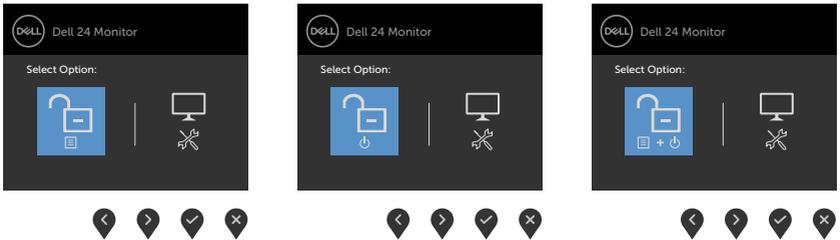
オプション	説明
1  メニューボタンのロック	このオプションを選択して、OSDメニュー機能をロックします。
2  電源ボタンのロック	電源ボタンをロックする場合は、このオプションを選択します。これで、ユーザーは電源ボタンを使ってモニターの電源を切ることができなくなります。



- 3  このオプションを使用して、OSDメニューと電源ボタンをロックします。
メニューボタンと電源ボタンのロック
- 4  このオプションを使用して、内蔵の診断機能を実行します。内蔵の診断機能を参照してください。
組み込み診断

ボタンのロックを解除します。

メニューが画面に表示されるまで、内蔵診断ボタン（ボタン 4）を4秒間長押しします。下記の表では、前面パネルのコントロールボタンのロックを解除する際のオプションについて説明しています。

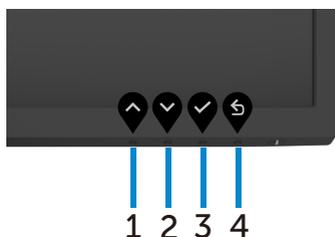


オプション	説明
1  メニューボタンのロック解除	このオプションを使用して、OSDメニュー機能のロックを解除します。
2  電源ボタンのロック解除	このオプションを使用して、モニターをオフにできるように、電源ボタンのロックを解除します。
3  メニューボタンと電源ボタンのロック解除	このオプションを使用して、OSDメニューと電源ボタンのロックを解除します。
4  組み込み診断	このオプションを使用して、内蔵の診断機能を実行します。内蔵の診断機能を参照してください。



フロントパネルボタン

モニターの前面にあるボタンを使用して、画像設定を調整します。



フロントパネルボタン	説明
1  上	値を増やすか、メニューを上へ移動するには、Up（上へ）ボタンを使用します。
2  下	値を減らすか、メニューを下へ移動するには、Down（下へ）ボタンを使用します。
3  OK	選択を確定するにはOKキーを使用します。
4  戻る	前のメニューに戻るには、戻るキーを使用します。

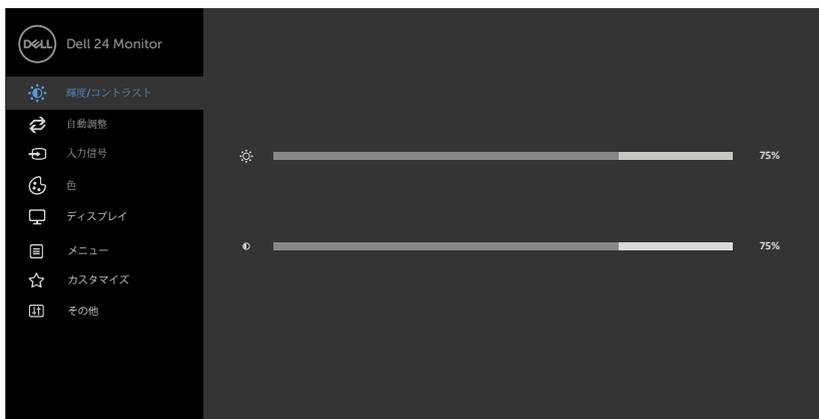


オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

メニューシステムにアクセス

 注釈：OSDメニューを使って実施した変更は、別のOSDメニューに移動する時やOSDメニューを終了する時、OSDメニューの表示が自動で非表示になる時に自動的に保存されます。

1.  ボタンを押して、OSD メインメニューを起動します。



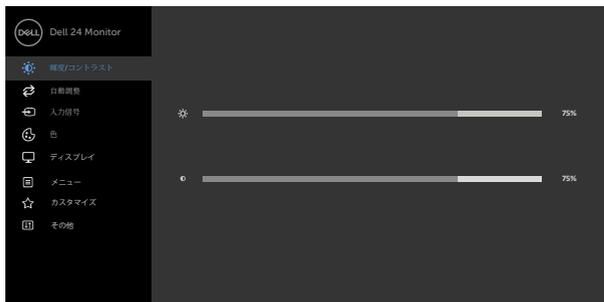
2.  と  ボタンを押して、オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。
3.  と  または  ボタンを1回押して、ハイライトしたオプションをアクティブにします。
4. 希望のパラメーターを選択するには  と  ボタンを押します。
5.  ボタンを押してサイドバーに入り、メニューの表示ランプに応じて、 または  ボタンを使用して変更します。
6.  を選択して前のメニューに戻るか、 で承認してから、前のメニューに戻ります。





Brightness/
Contrast
(輝度/コントラスト)

このメニューを使用して、輝度/コントラスト調整をアクティブにします。



Brightness
(輝度)

輝度はバックライトの明るさを調整します（最小0、最大100）。



ボタンを押して、輝度を上げます。



ボタンを押して、輝度を下げます。

Contrast
(コントラスト)

輝度を最初に調整し、次にさらに調整が必要な場合にのみ、コントラストを調整します。



ボタンを押してコントラストを増加させ、 ボタンを押してコントラストを下げます（0から100まで）。

注：コントラストはモニターの明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。

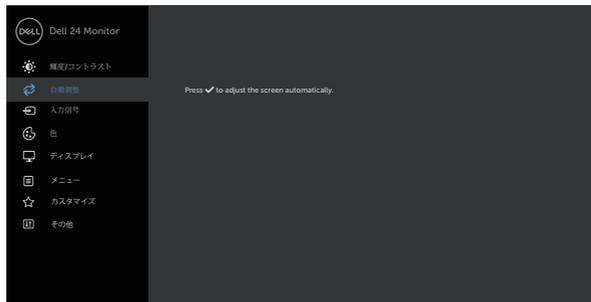




自動調整

ご利用のコンピューターが、ディスプレイの起動を認識した場合、自動調整機能が、特定の設定で使用するために表示設定を最適化します。

自動調整により、ディスプレイは、入力動画信号を自己調整することができます。自動調整を使用した後、表示メニューの下のピクセルクロック（粗い）または位相（細かい）を使って、ディスプレイを更に微調整することができます。



次のダイアログが、ディスプレイが、自動的に現在の入力を調整できるよう、黒色画面上に表示されます：



注：ほとんどの場合、自動調整は、構成に対する最良の画像を生成します。

注：自動調整オプションは、ディスプレイが、VGA ケーブルを使って接続されているときのみ、利用可能です。





Input Source
(入力ソース)

モニターに接続された異なるビデオ入力を選択するには、入力ソースメニューを使用します。

SE2422HR



SE2422HM



VGA

VGA コネクタを使用している場合は、VGA入力を
選択します。

を押して、VAG 入力ソ
ースを選択します。

HDMI (SE2422HR
のみ)

HDMI コネクタを使用している場合は、HDMI入力を
選択します。

を押して、HDMI 入力ソ
ースを選択します。



アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	DVI (SE2422HMのみ)	DVI コネクタを使用している場合は、DVI入力を選択します。  を押して、DVI 入カソースを選択します。
	自動選択	自動選択を選択するには  を使用します。モニターが使用可能な入カソースをスキャンします。
	Reset Input Source (入力信号のリセット)	モニターの入カソースを工場出荷時のデフォルトにリセットします。



Color (色)

色設定モードを調整するには[カラー]メニューを使用します。



Preset Mode (SE2422HR:Preset Modes (プリセットモード) プリセットモード) を選択すると、リストの中からStandard (標準)、ComfortView、Movie (映画)、FPS、RTS、RPG、Warm (温色)、Cool (冷色)、Custom Color (カスタマカラー) を選択できます。



SE2422HM:Preset Modes (プリセットモード) を選択すると、リストの中からStandard (標準)、ComfortView、Movie (映画)、ゲーム、Warm (温色)、Cool (冷色)、Custom Color (カスタマカラー) を選択できます。



- ・ Standard (標準) : デフォルトのカラー設定です。これはデフォルトのプリセットモードです。
- ・ ComfortView : 画面から放射される青色光レベルを低減し、あなたの目のために、より快適に閲覧できるようにします。

警告 : モニターから放出されるブルーライトに長時間さらされると、デジタル眼精疲労、目の疲労、目への損傷など、人身傷害を引き起こす可能性があります。また、モニターを長時間使用する場合、首、腕、背中、肩などの部位に痛みが生じる可能性があります。適切な姿勢を維持し、疲労や怪我を防ぐための詳細については、[人間工学](#)を参照してください。

- ・ Movie (映画) : 映画に最適なカラー設定を読み込みます。
- ・ FPS (SE2422HRのみ) : 一人称シューティングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- ・ RTS (SE2422HRのみ) : リアルタイム戦略ゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- ・ RPG (SE2422HRのみ) : ロールプレイングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- ・ ゲーム (SE2422HMのみ) : ほとんどのゲームアプリケーションに最適なカラー設定をロードします。
- ・ Warm (ウォーム) : 色温度を上げます。画面は赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。
- ・ Cool (クール) : 色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- ・ カスタムカラー : 手動でカラー設定を調整することができます。◀ と ▶ ボタンを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。

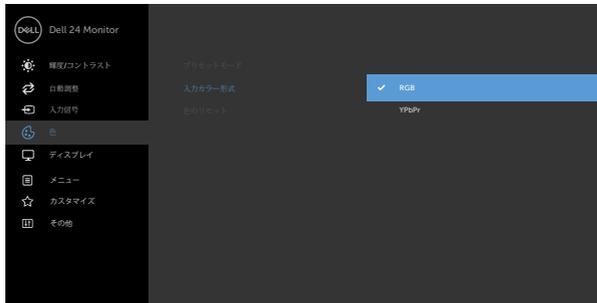


アイメニューとサブメニュー

説明

Input Color Format
(入力カラー形式)

- ビデオ入力モードを以下に設定可能です。
- ・ RGB : モニターが、RGB出力をサポートするコンピュータまたはメディアプレーヤーに接続されている場合は、このオプションを選択します。
 - ・ YCbCr/YPbPr* : メディアプレーヤーが YCbCr/YPbPr 出力のみに対応している場合は、このオプションを選択します。



*VGA 入力を選択した場合。

色相

↑ または ↓ を使用して、色相を0-100で調整します。

注釈 : 色相調整はMovie (映画) およびFPS、RTS、RPG Game (RPG ゲーム) モードでのみ利用できます。

彩度

↑ または ↓ を使用して、彩度を0-100で調整します。

注釈 : 彩度調整は、動画とFPS、RTS、RPGモードでのみ使用できます。

Reset Color
(色のリセット)

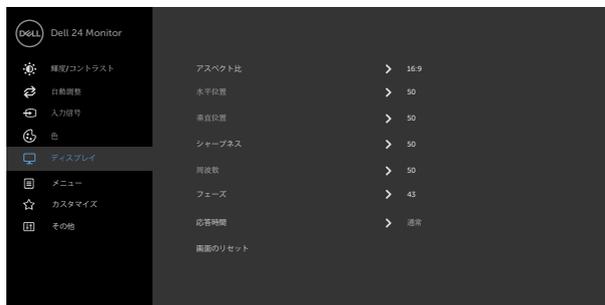
モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。





Display (ディスプレイ)

画像を調整するには、ディスプレイを使用します。



Aspect Ratio (アスペクト比) 16:9、4:3の中から映像比を選択します。

水平位置 (VGA 入力のみ)

↑ または ↓ を使用して、画像を左または右に調整します。
最小値は、「0」 (-) です。
最大値は、「100」 (+) です。

垂直位置 (VGA 入力のみ)

↑ または ↓ を使用して、画像を上または下に調整します。
最小値は、「0」 (-) です。
最大値は、「100」 (+) です。

Sharpness (シャープネス)

画像をシャープまたはソフトにします。
↑ または ↓ を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

ピクセルクロック (VGA 入力のみ)

ピクセルクロック およびピクセルクロック調整により、ご利用のディスプレイをお好みに調整することができます。
↑ または ↓ アイコンを使って、最良画質に調整します。

位相 (VGA 入力のみ)

位相調整を使って、満足のいく結果が得られない場合は、再度、ピクセルクロック (粗い) 調整を使い、次に、位相 (細かい) を使います。



アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	応答時間	応答時間をノーマル、高速、エクストリームに設定できます。
	Reset Display (画面のリセット)	ディスプレイ設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

 **Menu (メニュー)** OSDの言語、メニューの画面表示時間などOSD設定を調整するには、このオプションを選択します。



Language (言語) 8言語から1つをOSD表示に設定します。
(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語(ブラジル)、ロシア語、簡体中国語、日本語)

Transparency (透過性) このオプションを選択して、とを使用してメニューの透明度を変更します (最小値 0/最大値 100)

Timer (タイマー) OSD継続時間: ボタンを押したあと、OSDがアクティブなままの時間を設定します。
とボタンを使用して、スライダーを1秒刻みで5-60秒で調整します。



ロック

ユーザーの調節へのアクセスを制限します。ボタンはロックされています。



- ・メニューボタン： OSDを通してメニューボタンをロックします。
- ・電源ボタン： OSDを通して電源ボタンをロックします。
- ・メニュー + 電源ボタン： OSDを通してメニューボタンと電源ボタン全てをロックします。
- ・無効にする： 電源ボタンの左側にある  ボタンを4秒間長押しします。

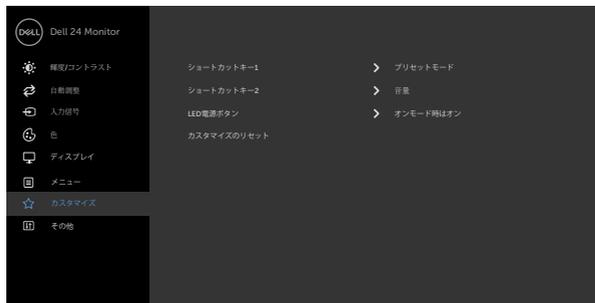
Reset Menu
(メニューのリセット)

メニュー設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。





Personalize (個人用設定)



ショートカット 1	Preset Modes (プリセットモード)、Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)、Auto Adjust (自動調整)、Input Source (入力ソース)、Aspect Ratio (アスペクト比) から選択して、ショートカットキー1として設定します。
ショートカット 2	Preset Modes (プリセットモード)、Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)、Auto Adjust (自動調整)、Input Source (入力ソース)、Aspect Ratio (アスペクト比) から選択して、ショートカットキー2として設定します。
Power Button LED (電源ボタン LED)	エネルギーを節約するために、電源ランプの状態を設定できます。
個人設定のリセット	ショートカットキーを工場出荷時のデフォルトに戻します。





Other
(その他)

DDC/CI、LCDコンディショニングなどOSD設定を調整するには、このオプションを選択します。



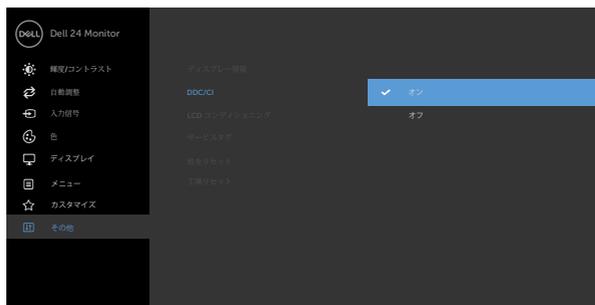
ディスプレイ モニターの現在の設定を表示します。
情報

DDC/CI

DDC/CI（ディスプレイデータチャンネル/コマンドインタフェース）は、コンピューターのソフトウェアを使ってモニター設定の調整が可能です。

オフを選択して、この機能をオフに切り替えます。

最高のユーザーエクスペリエンスと最適なモニターパフォーマンスのために、この機能を有効にします。



アイメニューとサブメニュー 説明

LCD Conditioning (LCDコンディショニング)

残像の軽微な問題を低減することを助けます。残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。オンを選択して、処理を開始します。



サービスタグ

サービスタグを表示します。サービスタグは、Dellが製品仕様を識別し、保証情報にアクセスするための固有の英数字の識別子です。

注釈： サービスタグは、スタンドのベースにあるラベルにも印刷されています。

Reset Others (他をリセット)

DDC/CIのようなその他の設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

Factory Reset (工場リセット)

すべてのプリセット値を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。



OSD警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。



これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[解像度の仕様](#)を参照してください。推奨モードは 1920 x 1080。

DDC/CI機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。



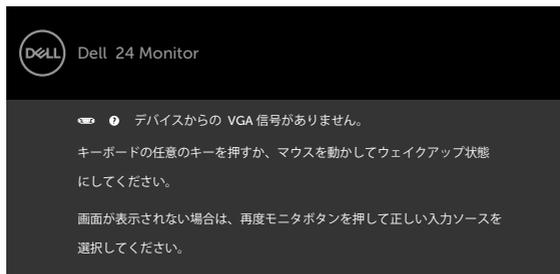
モニターがスタンバイモードに入ると、次のメッセージが表示されます：





OSDアクセスするには、コンピューターをアクティブにし、モニターを起動します。

電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のいずれかのメッセージが表示されます。





その他の機能にあるFactory Reset（工場出荷時の状態にリセット）の OSD 項目を選択すると、次のメッセージが表示されます：



輝度レベルをデフォルトレベルの75%以上に調整すると、次のメッセージが表示されます：



- ・ユーザーが「はい」を選択すると、電源メッセージは一度だけ表示されます。
- ・ユーザーが「いいえ」を選択すると、電源警告メッセージがもう一度ポップアップ表示されます。
- ・電源警告メッセージは、ユーザーがOSDメニューから工場出荷時の状態にリセットした場合にのみ再び表示されます。

HDMI, VGA, DVI 入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。





または



または



詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。



最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定します：

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1の場合：

1. Windows 8 または Windows 8.1 バージョンの場合のみ、デスクトップタイルを選択して、クラシックデスクトップに切り替えます。Windows Vistaおよび Windows 7 を使用している場合は、この手順をスキップしてください。
2. デスクトップを右クリックしてScreen Resolution（画面解像度）をクリックします。
3. Screen Resolution（画面解像度）のドロップダウンリストをクリックして、1920 x 1080を選択します。
4. OKをクリックします。

Windows 10の場合：

1. デスクトップを右クリックしてDisplay Settings（ディスプレイ設定）をクリックします。
2. Advanced display settings（詳細ディスプレイ設定）をクリックします。
3. Resolution（解像度）のドロップダウンリストをクリックして、1920 x 1080を選択します。
4. Apply（適用）をクリックします。

オプションに 1920 x 1080 が表示されない場合、グラフィックスドライバーを更新する必要がある可能性があります。コンピュータに応じて、次のいずれかの手順を実行します。

Dell デスクトップまたはポータブルコンピュータを使用している場合：

- ・ <https://www.dell.com/support> にアクセスし、サービスタグを入力して、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell 製以外のコンピュータ（ラップトップまたはデスクトップ）を使用している場合：

- ・ コンピュータ製造元のサポートサイトにアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。
- ・ グラフィックカード製造元のウェブサイトアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。



トラブルシューティング

⚠ 警告：このセクションの手順を開始する前に、[安全に関する注意事項](#)に従ってください。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの電源を切ります。
2. コンピューターの背面からビデオケーブルを外します。適切なセルフテスト動作を確保するため、コンピューターの背面にあるすべてのビデオケーブルを外してください。
3. モニターの電源を入れます。

モニターが正常に動作しているにもかかわらず入力信号が検出されない場合、接続に応じて、次のいずれかのダイアログが表示されます。セルフテストモード中の場合、電源 LED は白いままです。



または



または





注釈：このボックスは、ビデオケーブルが切断または破損した場合にも、通常のシステム操作時に表示されます

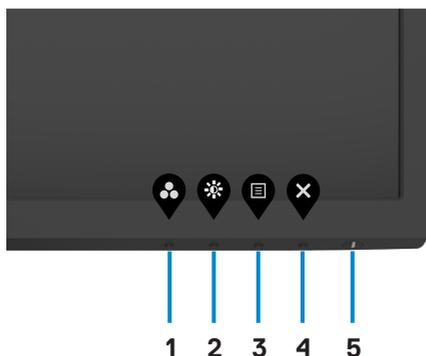
4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの両方の電源を入れます。

前記の手順を実行してもモニター画面が空白のままの場合は、考えられる問題がないか、ビデオコントローラーとコンピュータを確認してください。

内蔵の診断機能

モニターはビルトイン診断ツールを持ち、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定することに役立ちます。

ボタンの説明については、「[フロントパネルのコントロールを使用する](#)」を参照してください。



ビルトイン診断を実行するには：

1. 画面が清潔であることを確認します（画面の表面にほこりや粒子がついていない状態）。。



2. **内蔵診断**ボタン（ボタン 4）を4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。。
3. 内蔵診断「X」オプションを選択します。グレー画面が表示されます。
4. 注意して画面の異常を調べます。
5. フロントパネルのボタン1をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか調べます。
7. 手順5と6を繰り返して、緑、青、黒、白、およびテキスト画面に切り替わる際のディスプレイを確認します。

テキスト画面が表示されたら、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン1を押します。



共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
ビデオなし/電源LEDがオフ	映像なし	<ul style="list-style-type: none">・モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。・他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。・電源ボタンが押し込まれていないか確認します。・ 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオなし/電源LEDがオン	画像または輝度がない	<ul style="list-style-type: none">・OSD を通して、輝度とコントラストを増やします。・モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。・ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。・ビルトイン診断を実行します。・ 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
焦点がぼやけている	画像が乱れている、ぼやけている、またはゴーストが発生している	<ul style="list-style-type: none">・OSDを介してAuto adjust（自動調整）を実行してください。・OSDを介してPhase（位相）およびPixel Clock（ピクセルクロック）動作を調整してください。・ビデオ延長ケーブルを外してください。・モニターを工場出荷時の設定にリセットしてください。・ビデオの解像度を正しいアスペクト比に変更してください。



一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
画像が揺れる/ ぎくしゃく する	波状の画像ま たは細かい 動き	<ul style="list-style-type: none"> ・OSDを介してAuto adjust（自動調整）を実行してください。 ・OSDを介してPhase（位相）およびPixel Clock（ピクセルクロック）動作を調整してください。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットしてください。 ・環境に要因がないか確認してください。 ・モニターを別の場所や部屋に移動して、もう一度確認してください。
ピクセル抜け	LCDスクリーン にスポットが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れ直します。 ・ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。 ・Dellモニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、 https://www.dell.com/pixelguidelines をご覧ください。
常時点灯ピクセル	LCDスクリーン に明るいスポ ットがありま す。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れ直します。 ・ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。 ・Dellモニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、 https://www.dell.com/pixelguidelines をご覧ください。
輝度の問題	画像が暗すぎ るまたは明る すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ・OSDを通して、輝度とコントラストを調整します。
幾何学模様の 歪み	画面が正しく 中央に配置さ れていない	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを工場出荷時の設定にリセットしてください。 ・OSDを介してAuto adjust（自動調整）を実行してください。 ・OSDを介して水平および垂直動作を調整してください。



一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
水平/垂直の線	画面にラインが1本以上表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・OSDを介してAuto adjust（自動調整）を実行してください。 ・OSDを介してPhase（位相）およびPixel Clock（ピクセルクロック）動作を調整してください。 ・モニターのセルフテスト機能チェックを実行して、セルフテストモードでもラインが発生するか確認します。 ・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。 ・内蔵診断機能を実行します。
同期上の問題	画面が混線しているか、引き裂かれているように見える	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・OSDを介してAuto adjust（自動調整）を実行してください。 ・OSDを介してPhase（位相）およびPixel Clock（ピクセルクロック）動作を調整してください。 ・モニターのセルフテスト機能チェックを実行して、セルフテストモードでも混線した画面が発生するか確認します。 ・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。 ・コンピュータをセーフモードで再起動します。
安全に関連する問題	煙または火花が見える	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のあらゆる手段を実行してはいけません。 ・Dellへのお問い合わせ方法の詳細については、今すぐDellへのお問い合わせをご覧ください。



一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
時々とぎれる問題	モニターのオン/オフの不調	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ・モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ・モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	画像に色が無い	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターのセルフテストを実行します。 ・モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ・ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色がおかしい	画像の色が良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー設定OSDで、さまざまなPreset Modes（プリセットモード）を試してみてください。OSDのColor（カラー）メニューのCustom Color（カスタムカラー）にあるR/G/B値を調整してください。 ・OSDのColor（カラー）メニューで、Input Color Format（入力カラー形式）をRGBまたはYCbCr/YPbPrに変更します。 ・拡張設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。 ・ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	静止画像の薄い影が画面上に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・画面がアイドル状態になってから数分後に、画面がオフになるように設定します。これらの設定は、Windowsの電源オプションまたはMacの省エネルギー設定で調整できます。 ・代わりに、動的に変化するスクリーンセーバーを使用して下さい。



製品固有の問題

問題	何が発生するか	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	画像は画面の中央に表示されるが、表示エリア全体に表示されない	<ul style="list-style-type: none">・画像OSDメニューから、アスペクト比を確認します。・モニターを工場出荷時設定にリセットします。
前面パネルのボタンを使用してモニターを調整できない	OSDが画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">・モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	画像なし、LEDライトは白。	<ul style="list-style-type: none">・信号ソースを確認します。マウスを動かす、またはキーボードのキーを押して、コンピューターが省電源モードにないかを確認します。・信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。・コンピュータまたはビデオプレーヤーを再起動します。
画像が全画面に表示されない	画像が画面の縦横すべてを使って表示されない	<ul style="list-style-type: none">・DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。・ビルトイン診断を実行します。



付録

FCC通知（米国のみ）およびその他規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンスWebサイト https://www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。

Dellに連絡

米国のお客様は、800-WWW-DELL（800-999-3355）にお問い合わせください。

 注釈：利用できるインターネット接続がない場合、購入時の請求書、梱包票、請求書、または Dell 製品カタログにも連絡先情報が記載されていません。

Dell では、複数の方法で、オンラインおよび電話によるサポートとサービスを提供しています。ご利用いただける方法は、国や製品によって異なり、お住まいの地域ではご利用いただけないサービスもあります。

- ・ オンラインテクニカルサポート - <https://www.dell.com/support/monitors>

エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース

SE2422HR: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/709134>

